住まいのご相談は何でも
身近で安心できる建築組合に

私たちはくらしと技能をささえ、
後継者が育つ賃金を望みます!

目標賃金は建築労働者・職人の技術料です。

✓生活のための賃金

目標賃金 日額 26,000円

職人の日当には交通費、道具代、賞与、退職金分が全て含まれています。

私たち建築職人の"生活に必要な賃金"として、必要経費を要求していきましょう!

●実質賃金 17,678 円に、社会保険料・車両交通費・道具損料などの必要経費を加えると、職人の生活のための賃金として、日額 26,000 円となります。

月額実質賃金 318,204円
17,678 円×18 日

年間実質総賃金 3,818,448円
17,678 円×216 日

奈良県の男子勤労者の平均賃金を日給に換算すると
年収４１９万円＋ボーナス６６万円＝４８５万円÷２２２日＝２１，８４６円
(全業種) (従業員が５人以上所属している事業所) (奈良県毎月勤労統計)

賃金引き上げのチャンスは今。
公共工事の設計労務単価が全国平均で１６％アップ（５１職種）と、大幅な引き上げとなりました。これは技能労働者不足が顕著な中、賃金動向の調査で労務費の上昇傾向がみられることなどから、実勢価格を適切に反映された結果です。
消費税率引き上げに伴う、駆け込み需要の影響から現在工事量は増大していますが、まだまだ、私たちの現場では賃金や単価に反映されているとは思えません。
設計労務単価の反映及び末端の労働者まで、適切な賃金が行き渡るための自治体への要求行動に取組み、若者が入職してくる魅力的な産業をめざす運動が必要です。

平成２６年４月１日

奈良県建築労働協同組合